

# 埼玉大学ダイバーシティ推進センター研究生案内 (2026年10月期入学希望者用)

2026年5月

この研究生案内は、ダイバーシティ推進センター所属教員の指導を希望する方向けの案内です。研究生は、専門事項の研究のため、研究題目を定め特定の教員の指導を受けて研究する制度です。

「教員一覧」を参考に、「専門分野」と「指導教員」を選択してください。

## 1. 研究期間

研究生の研究期間は半年間です（前期：4月1日から9月30日、後期：10月1日から3月31日）。

ただし、所定の期間内に「研究継続願（所定の用紙）」の提出があれば、さらに半年間、研究期間の延長を認めることがあります。

**※延長は1度だけしか認められません**（特段の事情がある場合を除く）。それより長く研究生として在籍を希望する場合には、改めて出願していただく必要があります。

## 2. 出願資格

次のいずれかに該当する必要があります。

- (1) 学校教育法第83条第1項に定める日本の大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) その他本センターにおいて、研究能力があると認められた者

**※出願に際し、あらかじめ希望の指導教員の内諾を得る必要はありません。**

※研究生受入時期までに卒業見込の者も出願を認めますが、2026年9月までに卒業していない場合には受入が決定していても取り消しとなります。

**なお、外国人留学生の場合、上記(1)～(4)のほか、以下(5)に該当する必要があります。**

- (5) 原則、出入国管理及び難民認定法で、入学に支障のない在留資格(留学等)を有する者で、次のいずれかに該当する者
  - a. (公財) 日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する「日本語能力試験」の1級またはN1に合格した者
  - b. 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の「日本語」を、直近の試験を含む過去2年間のうちに受験し、その得点が次の条件を満たしている者  
「読解」・「聴解」・「聴読解」の合計が240点以上、かつ「記述」の合計が30点以上

※英語により研究指導を受ける場合は、上記a・bのいずれかに該当しない者でも別途出願資格審査を行い、出願を認めることがありますので、以下の期間内に、ダイバーシティ推進センターまでメールでご相談ください。

メールアドレス： diversity-s@gr.saitama-u.ac.jp

出願資格審査期間：2026年6月8日（月）～6月10日（水）

**※在留資格及びビザの申請等については、各自で手続きを行ってください。**

### 3. 出願手続

(1) 出願期間 2026年6月22日（月）～6月26日（金）

※出願は**郵送のみ**とし、**窓口では一切受け付けません**。郵送は**書留郵便**として、封筒の表に「ダイバーシティ推進センター研究生志願書類在中」と朱書し、**期間内に必着**のこと。

(2) 提出書類等

①研究願（所定の用紙）

※「研究指導氏名」は必ず記入すること。記入がない場合は審査ができません。

②履歴書（所定の用紙）

③研究計画書（600字程度）（所定の用紙）

④所属長の承諾書（事業所等に勤務する者に限る）（所定の用紙）

⑤最終学校の卒業（修了）証明書（原本）※

⑥最終学校の成績証明書（原本）※

**※日本語以外の言語で書かれた証明書は日本語訳を作成し、併せて提出してください。**

⑦検定料（9,800円）

※別紙「入学検定料払込方法(研究生用)」を参照し、コンビニエンスストアから払い込む。

※国外から出願する場合は、クレジットカード払いも可能なため、お問い合わせください。

⑧収納証明書貼付用紙（所定の用紙）

※コンビニエンスストアで受け取った「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」の部分を切り取り、貼付したもの。

⑨110円切手を貼った返信用封筒（長形3号の封筒に宛先を明記）

※国外から出願する場合は不要です。

なお外国人留学生の場合、⑩および、⑪a～bのいずれかの書類が必要です。

⑩在留期間を確認できるもの（在留カード、住民票等）またはパスポートの写し

⑪次のいずれかの書類

a 「日本語能力試験（1級またはN1）」の日本語能力認定書及び点数の記載された書類（写）

b 「日本留学試験成績通知書」（写）。または「EJUオンライン」出願・成績確認ページから印刷した「成績確認書」

※英語で研究指導を受ける者が出願を認められた場合は、⑪の書類は不要です。

※出願書類のうち、「(所定の用紙)」と記載してあるものについては、本学所定の様式以外では受付できません。

#### 【重要】安全保障輸出管理について

埼玉大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「国立大学法人埼玉大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を行っています。

規制されている事項に該当する場合は、入学が許可できない場合や希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、ご注意ください。なお、詳細については、以下の本学安全保障輸出管理規則を参照してください。

<https://www.saitama-u.ac.jp/houki/houki-n/reg-n/2-3-16.pdf>

(3) 提出書類送付先

〒338-8570 さいたま市桜区下大久保2-5-5  
埼玉大学ダイバーシティ推進センター

4. 選考方法について

- (1) 第一次選考 書類（提出された書類に基づき、選考します。）
- (2) 第二次選考 面接（第二次選考は、第一次選考合格者に対してのみ、2026年7月中旬に本学で行います。）

5. 結果発表について

- (1) 第一次選考：選考後随時、合格者に対してはメール等で第二次選考の日程をお知らせします。履歴書に記載されているメールアドレス・携帯電話へ通知しますので、連絡が受けられるようにしてください。
- (2) 第二次選考：2026年8月28日（金）以降、提出された返信用封筒で郵送します。合格者には合格通知及び入学手続きに必要な書類を同封します。不合格者には不合格通知を郵送します。2026年9月7日（月）までに連絡がない場合にはお問い合わせください。※外国からの出願については、履歴書に記載されているメールアドレスへ連絡します。

※合格判定の内容に関わる問い合わせについては、一切応じられません。

6. 入学手続

- (1) 手続方法 郵送による
- (2) 手続期限 2026年9月14日（月）～9月18日（金）必着  
期日までに書類等の提出がない者は、入学辞退者として取り扱います。
- (3) 提出書類
  - ① 誓約書（所定の用紙）
  - ② 学生情報カード（所定の用紙）
  - ③ 学生証発行用写真貼付票（所定の用紙）
  - ④ 在留カードの写し（留学生のみ）
- (4) 納付金
  - ① 入学料 84,600円（予定額）
  - ② 授業料 半年分 178,200円（予定額）合格決定時にお知らせする指定の口座に振り込んでください。

7. 入学許可

入学料及び授業料の支払いを済ませ、指定の期日までに所定の書類を提出し、入学手続を完了した者については、入学を許可します。入学後は、個人で指導教員と連絡を取り、研究を進めてください。授業に出る義務はありません。（単位は修得できません）

## 8. 研究中止手続

やむを得ず研究中止しなければならない場合は、速やかに指導教員の下承を得るとともに、産学官連携・ダイバーシティ推進課に研究中止届（所定の用紙）を提出してください。

## 9. 研究終了手続

研究期間が終了したら、速やかに次の書類を提出してください。

- (1) 研究終了届（所定の用紙）→産学官連携・ダイバーシティ推進課に提出すること。
- (2) 研究報告書 →指導教員に提出すること。

## 10. その他

- (1) 産学官連携・ダイバーシティ推進課の受付時間は平日、月～金曜日 8:45～16:45 です。

なお、提出書類の中で「(所定の用紙)」と記載してあるものは、下記ホームページよりダウンロードすることができます。

<https://park.saitama-u.ac.jp/~diversity/researchstudent/>

- (2) 出願書類提出後は、提出書類の返却及び検定料の返還はしません。

ただし、次の場合に限り検定料の返還請求ができます。

- ア 検定料を払い込んだが、出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合。
- イ 検定料を誤って二重に払い込んだ場合。

返還請求の方法および「返還請求書」（本学様式）は、以下に掲載しています。

<https://www.saitama-u.ac.jp/media/henkanseikyu.pdf>

返還請求書をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ、「収納証明書」を添付して下記送付先へ速やかに郵送してください。

返還には返還請求書を受領後1ヶ月程度かかります。

送付先：〒338-8570 さいたま市桜区下大久保255

埼玉大学財務部経理課出納担当

## ダイバーシティ推進センター教員一覧

| 専任教員   | 主な研究領域                       |
|--------|------------------------------|
| 岡村 利恵  | 社会学（リーダーシップ、家族、ジェンダー）        |
| 瀬山 紀子  | 社会学（ジェンダー、公務非正規、障害学）         |
| 田代 美江子 | ジェンダー教育学、包括的性教育研究、性教育史研究     |
| 對馬 果莉  | 政治思想・フェミニスト理論（アーレント思想、ケアの倫理） |
| 渡辺 大輔  | 教育学（ジェンダー・セクシュアリティ教育）        |